

## 雲仙岳火山活動状況 (1996年 5 月～ 9 月)\*

Volcanic Activity of Unzen Volcano(May-September 1996)

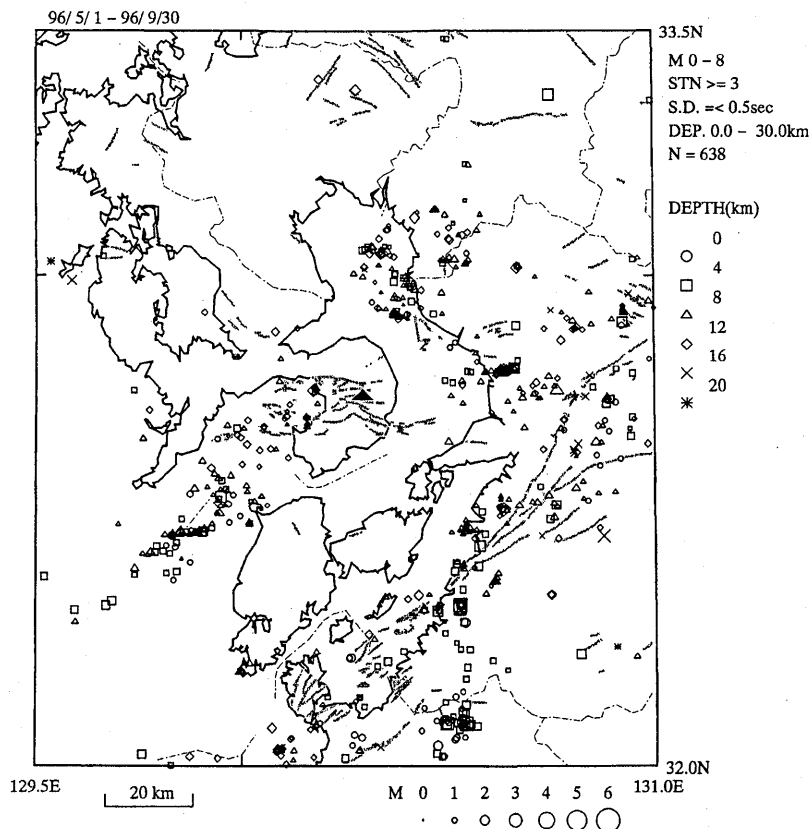
九州大学理学部附属島原地震火山観測所

Kyushu Univ.

この期間、雲仙岳の火山活動に目立った変化は認められない。第1図に九州中西部の震央分布を示す。雲仙火山周辺では、有明海、熊本市周辺、天草灘等で定常的な地震活動が引き続き見られているが、雲仙火山地域（島原半島、橘湾）では、島原半島西岸付近で9月6日M3.1（第2図）、また普賢岳山頂直下で6月～9月に計4個の地震（第3図）が観測されたのみである。このうち、9月6日の地震の発震機構は、第2図に示すように、南北張力の正断層型と推定される。

第4図に雲仙岳周辺4カ所の傾斜観測点における傾斜の日平均値の変化を、第5図に普賢岳北麓における地磁気変化を示す。これらのデータにも、特に火山活動の変化を示すような変化は認められない。

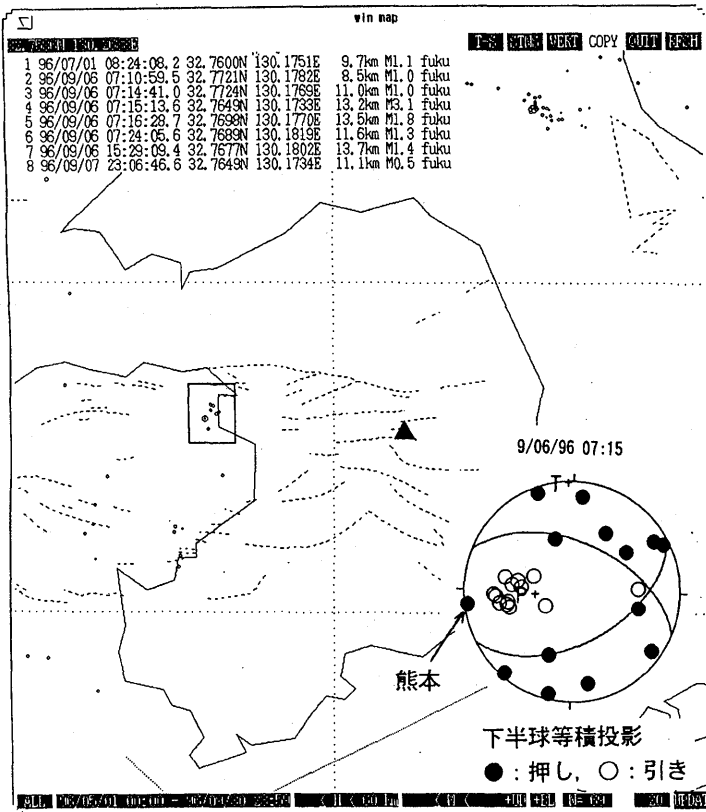
第6図に、溶岩ドーム頂部での噴気温度変化を示す。各測定点とも、1995年5月以降、ほぼ単調な温度低下が観測されている。



第1図 九州中西部の震央分布 (1996年 5 月～ 9 月)

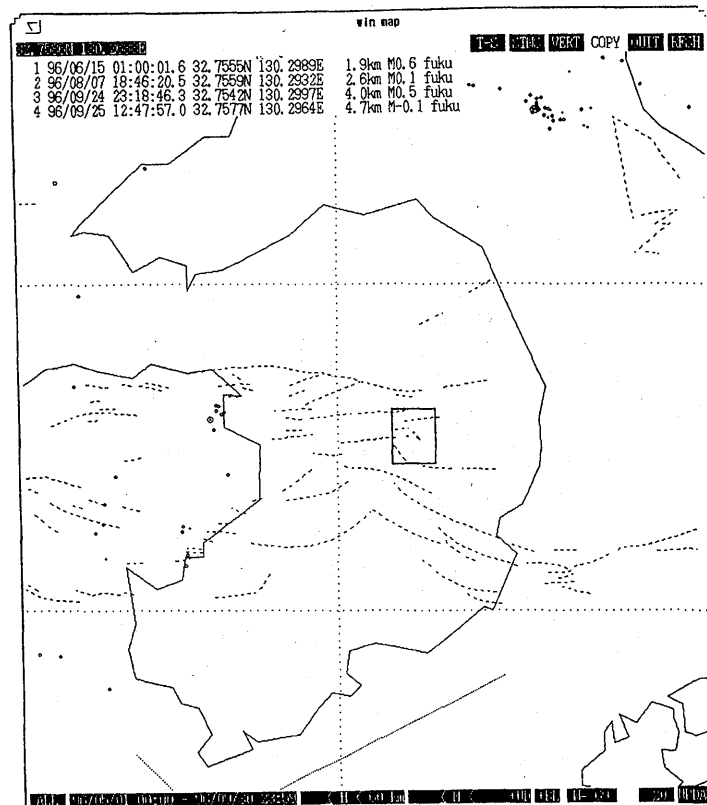
Fig.1 Epicenter distribution in mid-western Kyushu(May-September 1996)

\* Received 12 Dec.,1996



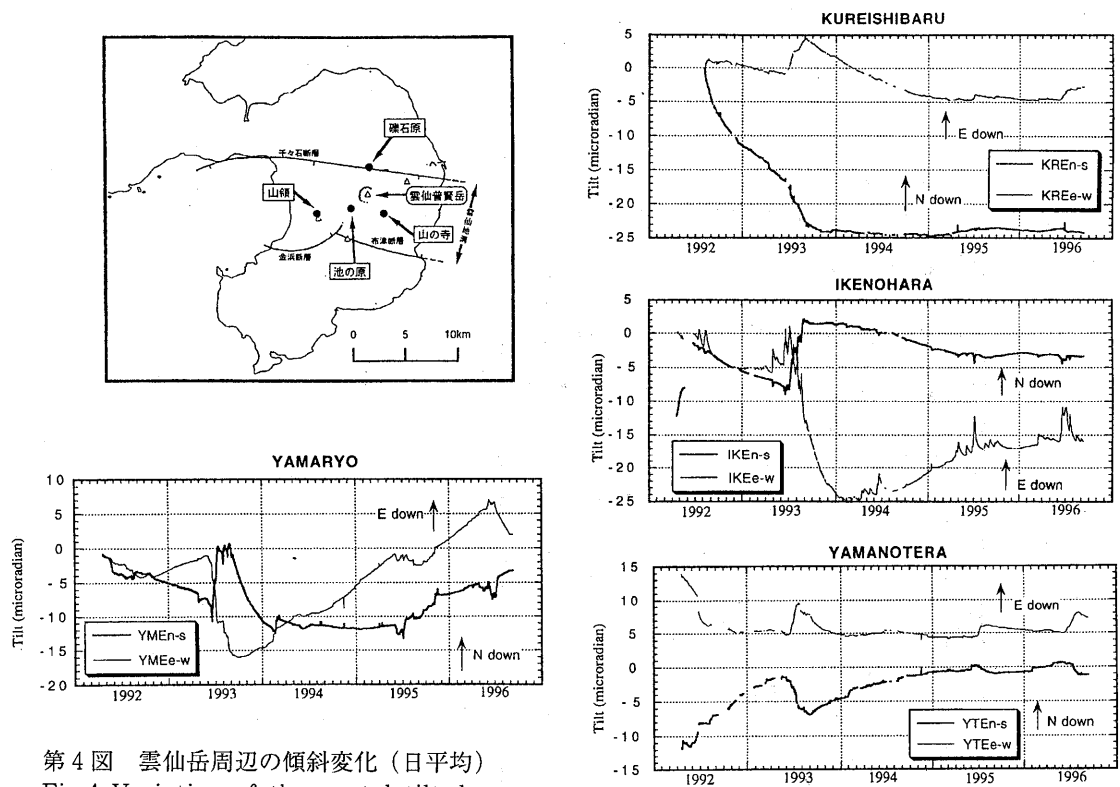
第2図 島原半島西海岸付近に発生した地震の震央分布とイベントリスト。9月6日M3.1の地震の発震機構。下半球等積投影。黒丸：押し、白丸：引き。

Fig.2 Epicenter distribution and the event list for the earthquakes that occurred near the western coast of the Shimabara Peninsula. Inset shows the focal mechanism solution of the earthquake on September 6 (M3.1). Equal area projection on the lower hemisphere. Closed and open circles denote compression and dilatation, respectively.

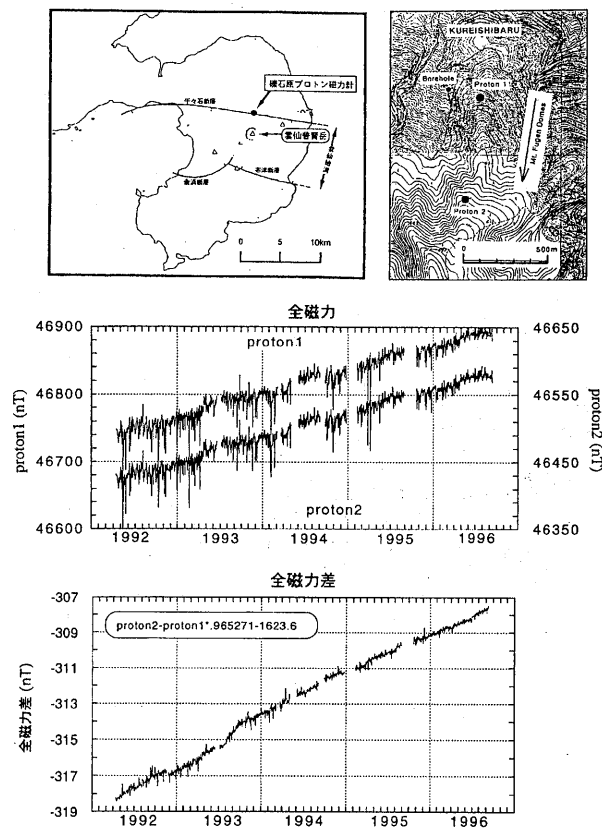


第3図 普賢岳山頂直下に発生した地震の震央分布とイベントリスト

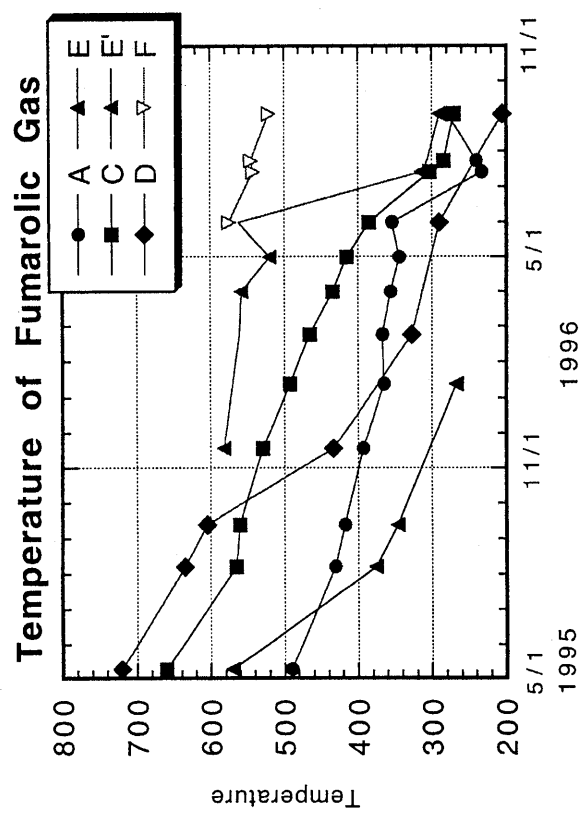
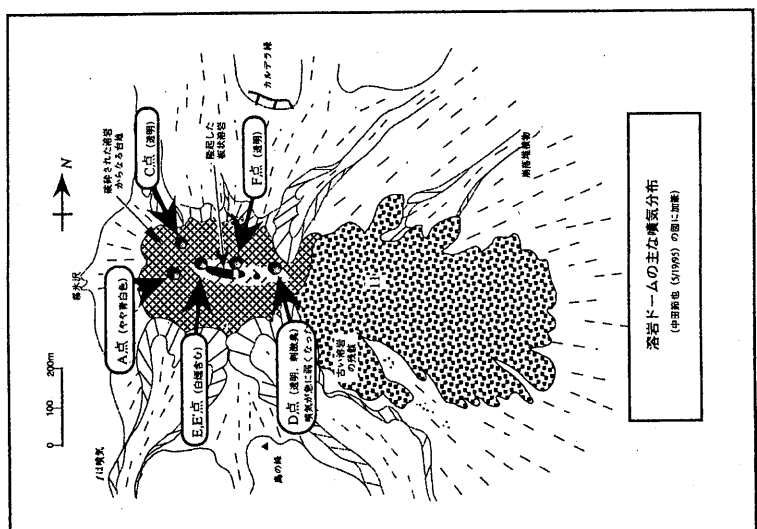
Fig.3 Epicenter distribution and the event list for the earthquakes that occurred just beneath the summit of Fugendake.



第4図 雲仙岳周辺の傾斜変化 (日平均)  
Fig.4 Variation of the crustal tilt data.



第5図 普賢岳北麓における全磁力の変化  
Fig.5 Variation of the geomagnetic total intensity.



第6図 溶岩ドーム頂部での噴気温度  
Fig.6 Temperatures of fumaroles at the top of the dome.